

大 人材育成へ教室^{など}

ロケットコンソーシアム

事業計画を承認

子どもたちにプログラミングを学ぶ環境を提供する「おおだてロボット人材育成コンソーシアム」(会長・佐藤義晃 大館商工会議所会頭)の2024年度総会が18日、秋田職業能力開発短期大学校で開かれた。会員23人が出席し、ロボット教室の開催などを含む事業計画を決めた。



おおだてロボット人材育成コンソーシアムの総会 (秋田職能短大)

ロボット教室を開催する。初級(20人)と中級(10人)に分かれており、コースごとに競技大会も行う。大館少年少女発明クラブロボット教室(12月7日)や、同クラブの青森県奥石市との交流会(来年3月1日)も開く。

県北地区のものづくり人材の育成を目的に、市内の教育、商工団体などで組織している。佐藤会長は「ロボットはものづくりの分野だったが、今や日進月歩の時代。地域のものづくりにつながることに大きな期待を寄せながら進めたい」とあいさつした。

事業計画では、前年度実施したロボット教室のアンケート結果を発表。初級コースに参加した9割以上が「とても楽しかった」と回答し、上級コースへの参加に前向きな姿勢を示した。そのほか「新しい技術を手に入れたい」「ロボットについてもっと知りたい」など積極的な意見が上がっていた。

事業計画によると、8月24日に小中学生を対象としたロ